

## 寺野圭一郎 議員

### 「少子化対策に町独自案」

～出生祝金制度創設。継続するための財源確保に、多方面から注力。～

本年度の一般会計予算の総額は、過去最大規模 85 億 3,000 万円。

次世代を担う子どもを安心して産み育てられる環境づくりを強化する方針を示した。子ども・子育て支援では、新たに出生祝金制度を創設し、1人5万円、第3子以降は1人10万円を支給する。また、事業の継続性を確保するため「子ども子育て応援基金」を設ける。また原資には企業版ふるさと納税や寄付なども。

妊婦健康診査費の助成額は従来の8万円から11万1千円へと大幅に拡充し、方式も補助券から受診券へ切り替えることで利便性向上を図る。町立開成幼稚園では、拡充した預かり保育を冬休み・春休みまで通年化し、就園前親子の交流・相談の場となるプレ保育事業も新設する。

民間保育所への施設整備補助により低年齢児の受け入れ枠を拡大し、保育士確保策として宿舎借り上げ支援も開始。子ども誰でも通園制度にも対応し、全ての家庭を支援する体制を整える。

学校教育では、中学校部活動の地域展開を継続し、計11部活動で休日の地域展開が概ね完成する見通し。さらに教職員用端末の更新に合わせてゼロトラストセキュリティを導入し、校務系・学習系ネットワークの一元利用を可能にすることで、業務効率化を進める。